

1月15日 朝礼にて 校長講話

今日の朝礼では、6年生の池田琴葉さんの社会を明るくする運動の作文コンクールに応募した作品がとてもよく書けていたので発表してもらおうと思っています。

さて、人は一人では生きていけないというお話をしてきましたが、人は一人ではなくて、色々な人と共に生きています。自分だけじゃなくて、色々な人と



関わって、成り立っている、そういう集団を社会と言います。その社会を明るくするということは、いったいどういうことなのでしょう。明るい社会とはどういうことなのでしょう。池田琴葉さんの作文は、とっても素敵な内容です。では、お願いします。

安全な登下校から明るい社会を考える

あま市立秋竹小学校 池田 琴葉

「明るい社会」この言葉から皆さんはどんなことを考えたり、想像したりしますか。

私は、事故によって命が奪われることのない、みんなが笑顔で暮らせる社会を考えました。そして、毎日の登下校のことの方のこと、私たちを見守ってくれている「見守り隊」の方のことが、ふと、頭にうかびました。

ニュースで、登下校中に事故にあってしまったという報道を耳にすることがあります。いっしゅんにして笑い声が悲鳴に変わってしまう悲さんな光景。もし、自分の通学班に自動車がとびこんできたら、と考えると、ぞっとします。

私たちの地域には、「見守り隊」というものがあります。見守り隊の方は、毎日登下校のときに付き添って一緒に歩いてくれます。子ども会のお母さん、地域のおじいちゃんやおばあちゃんが見守り隊をしてくれています。地域の方のボランティアで支えられている活動です。私の母も、私が一年生になったときからずっと見守り隊をしています。なぜ、ボランティアをやっているのか聞いたことがありました。母は、

「自分たちが見守り隊をやることで子どもたちの安全が守られれば……。子どもたちとの会話も楽しいし。」

と答えてくれました。

以前、信号がある横断歩道で、信号が赤に変わりそうなときに横断しようとしたことがありました。自分では大丈夫と思ったのですが、「あぶない」と見守り隊の方に止められ、しかられました。

こんな、ふうに、見守り隊の方のおかげで、毎日安全に登下校できています。

四月の初めに見守り隊の方との顔合わせ会があります。この会で見守り隊の方は私たちの顔や名前を、私たちは見守り隊の方の名前を覚えることができます。家の近くで顔を見たことのある人が、友達のおじいちゃんやおばあちゃんだったということもよくあります。見守り隊というつながりで、私たちと地域の人がつながっています。見守っていただいている以上に、地域の方とつながっているということが大切なような気がします。

一年の終わりには、見守り隊の方に感謝する会を行い、感謝の気持ちをげきなどに表して伝えています。私も低学年の頃に経験しましたが、高学年の今でもできたらいいなあと思っています。

ところで、車による事故がない社会にするために、私たちは守っていただければいいのでしょうか。

「自分たちの安全は自分たちで守る」一つとして、毎週月曜日の叫斉下校のときに、通学班の振り返りをしています。各班長が一週間を振り返り、前を歩く人との間をあけないようにするためにはどうしたらいいかなど、問題点・改ぜん点を考えます。自分たちで解決できないことは先生に相談し、よりよくしていくための話し合いもします。それ以外にも各学期の終わりに通学団会議を行い、これまでの反省をしたり、気をつけていくことについて話し合っています。

しかし、どんなに私たちが安全に気をつけていても、ドラッグを使用しながらの運転や飲酒運転などの事故にまきこまれてしまう場合があります。車を運転する人たちには、軽はずみな行動により、罪のない子どもたちが通学中に命を失っている悲しみを、もっと真剣に考えて、正しい行動をして欲しいと思います。

さて、見守り隊の方に限らず、地域の人とつながっていくために、明るくあいさつをしたり、たくさん会話をしたりして交流を深めることがたいせつです。それが、事故だけではなく他の犯罪に巻き込まれないようにする方法の一つではないかと思います。

ほかにも、地域の人と一緒に登下校のことについて話し合いをしてみるなど、事故を防ぐために私たちにできることはたくさんあるなと感じました。

このように、私たちは毎日地域の方に見守られながら生活しています。いろいろな問題はありますが、地域との交流を深めて問題点を解決していくことが、明るい社会作りの一歩につながるのではないのでしょうか。

私が考える事故のない明るい社会も、まず、自分たちが住んでいる地域から、ご近所さんとのあいさつや会話から始まるのではないかと思います。

その明るい社会の輪がどんどん大きくなって、日本中に広がってほしいと願っています。

これを聞いて、自分ですぐできそうだからやってみようという人、ありますか？

「地域の人にあいさつをしようと思いました。」

同じように思った人、ああ、いるね。

じゃあ、他には。

「人とコミュニケーションを取りながら、あいさつをしていこうと思いました。」

同じように思った人は、いるかな。

そういう自分が今日からできると思ったことを、やっ行ってってくれるといいですね。みんなで今日からやってみて下さい。